

CASBEE-建築(新築)2014年版

(仮称)ダイワロイネットホテル小倉駅前新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.1.22)

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.7
Q1 室内環境			0.40	-	-	3.0
1 音環境		3.4	0.15	3.1	1.00	3.2
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音		5.0	0.40	3.3	0.40	
1 開口部遮音性能	遮音性能T-2(30等級)	5.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能		-	-	2.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		1.0	0.20	3.0	0.20	
2 温熱環境		2.1	0.35	2.5	1.00	2.3
2.1 室温制御		3.2	0.50	4.0	0.50	
1 室温	【客室】冬期23℃、夏期25℃	3.0	0.38	4.0	0.57	
2 外皮性能	外皮の断熱強化、複層ガラスの採用	4.0	0.25	4.0	0.43	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式		1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境		3.3	0.25	3.3	1.00	3.3
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率	【共用】昼光率2.5%以上、【客室】昼光率1.25%以上	5.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口		-	-	-	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境		3.6	0.25	3.8	1.00	3.7
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆建材を全面的に使用	4.0	1.00	4.0	1.00	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.5	0.30	3.6	0.38	
1 換気量	法定換気量を割増した換気量を確保している	4.0	0.50	5.0	0.33	
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.1
1 機能性		3.7	0.40	3.4	1.00	3.5
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性		-	-	3.0	0.50	
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	0.50	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30	4.0	0.40	
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3 内装計画	建物全体のコンセプトや機能に配慮した内装計画としている	5.0	1.00	5.0	0.50	
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	便所の内装仕上げに防汚性の高い建材を使用 他	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		2.8	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	冷媒:銅管(C)、給水:塩ビ管(B)、排水:塩ビ管(B)、給湯:SUS管	4.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性	1 空調・換気設備		2.8	0.20	-	-	
	2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3 電気設備		2.0	0.20	-	-	
	4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
	5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.4	0.30	2.6	1.00	2.9
3.1 空間のゆとり	1 階高のゆとり		-	-	2.2	0.50	
	2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.162	-	-	1.0	0.60	
3.2 荷重のゆとり			-	-	4.0	0.40	
3.3 設備の更新性			-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性	1 空調配管の更新性		3.4	1.00	-	-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性	保護管による配線	3.0	0.20	-	-	
	4 通信配線の更新性	保護管による配線	5.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性		5.0	0.10	-	-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	1.8
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.1
1 建物外皮の熱負荷抑制			4.8	0.20	-	-	4.8
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			5.0	0.50	-	-	5.0
3 設備システムの高効率化	集合住宅以外の評価(3a.3b)	BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) -	5.0	1.00	-	-	
	集合住宅の評価(3c)	LED照明の採用	5.0	1.00	-	-	
4 効率的運用			2.0	0.20	-	-	2.0
4 効率的運用	集合住宅以外の評価		2.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	4.2 運用管理体制		1.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1 モニタリング	4.1 モニタリング		-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水	1.1 節水	節水型水栓および節水型便器の採用	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.5	0.60	-	-	3.5
2.1 材料使用量の削減	2.1 材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	床材:長尺ビニル床シート、床材:OAフロア	4.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	内装が乾式工法のため分別が容易、かつ設備との錯綜は無い	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避	1 消火剤		-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	ノンフロン断熱材の使用	4.0	0.50	-	-	
3.3 冷媒	3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮			4.2	0.33	-	-	4.2
2 地域環境への配慮			2.2	0.33	-	-	2.2
2.1 大気汚染防止	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
	3 交通負荷抑制		2.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制	4 廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音		3.0	1.00	-	-	
2 振動	2 振動		-	-	-	-	
	3 悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制	2 砂塵の抑制		-	-	-	-	
	3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制	3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策	光害対策ガイドラインの配慮事項の過半以上を満足している	5.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策	2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	